

## 農学部 アセスメント・ポリシー

平成30年12月4日

### (目的)

- (1) 農学部では「北海道大学アセスメント・ポリシー」に基づき、学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）で示された教育目標への到達度を高めるために教学アセスメントを実施する。

### (実施体制)

- (2) 農学部の教学アセスメント実施責任者は、学部長とする。
- (3) 農学部の教学アセスメントは、農学部教務委員会において実施する。

### (実施及び分析)

- (4) 農学部の教学アセスメントは、別に定めるアセスメント・チェックリストにより実施する。
- (5) 評価結果を参考とした教育改革の内容は、積極的に公表する。
- (6) 教学データの取り扱いについては、本学の関係規程等を遵守し、個人情報等の保護につとめる。

## 農学部 アセスメント・チェックリスト

## 農学部の学位授与水準(DP)

DP1: 農学の各分野における専門的な幅広い知識および基礎的理論を体系的に身につけ、理解し、運用できる。
DP2: 農学の各分野における最近の研究動向について説明・コメントできる。
DP3: 農学の各分野において論点となる課題を設定し、調査・実験により論拠となるデータを示し、論理的に結論を与えることができる。
DP4: 文献情報等、必要に応じて適切な情報を探索することができ、情報を理解し正しく活用できる。
DP5: 必要な調査および実験を設定でき、正確に実施することができる。
DP6: 得られたデータを適切に分析・解析する数量的スキルを有している。
DP7: 日本語および英語等を用いて、科学的議論、口頭発表および論文発表ができる。
DP8: 卒業後も生涯にわたり学び続けるための、自己管理および主体的学習ができる。
DP9: 市民としての責任を自覚し、倫理観を身に付け、社会の様々な課題に対応できる。

番号	名称	実施時期	周期	対象	内容、質問項目等	手法	評価者	結果の活用方法	実施者
1	授業アンケート	5月, 7月, 1月	毎年	2~4年生	・授業の満足度 ・授業の理解度 ・学修状況	質問紙	学生	結果を学内に公表し、教員に教育方法改善の指針を与える。	農学部
2	成績評価	4月, 10月	毎年	2~4年生	・成績の点検	履修指導時に点検する	学科選出の教務教員または指導教員	成績をもとに履修指導を行う。	農学部 各学科
3	1, 3年次学修状況調査※	10~12月	毎年	1, 3年生	・学修状況 ・コンピテンシーの習熟度	Webアンケートシステム	学生	教職員に開示して今後の教育制度改善の参考とする。	総合IR室
4	卒業時調査	2~3月	毎年	4年生	・カリキュラム、卒業研究の満足度等	質問紙	学生	専門科目のカリキュラム改善を行う。	農学部
5	卒業生調査 (OB/OG調査)※	9~1月	毎年	卒後5,10,15年目の卒業生	・大学教育の有用性と現在の状況	質問紙	卒業生	教職員に開示してカリキュラム改善の参考とする。	総合IR室
6	企業調査 (就職先調査)	1~3月	3年に1回	卒業生の就職先	・卒業生の評価、求める能力等	質問紙	企業等の職員	評価に基づき、カリキュラム改善を検討する。	総合IR室
7	DPIによるカリキュラム点検	随時	4年に1回	カリキュラム	・DPを実現できるカリキュラムになっているかの点検	ナンバリング、カリキュラムマップなどによるDPとカリキュラムの相互参照	学科選出の教務教員	DPとカリキュラムのバランスが悪い場合はいずれかを見直す。	農学部 各学科

※ 大学IRコンソーシアムによる共通アンケートとして実施するもの。

(大学IRコンソーシアム: 平成21年度文部科学省「大学教育充実のための戦略的連携支援プログラム」(GP)に採択された「相互評価に基づく学士課程教育質保証システムの創出—国公立4大学IRネットワーク」を、発展的に継承するために設立された組織。http://www.irnw.jp/index.html )